

第21回 医療・介護等分野ロボット実用化 ワーキンググループのご案内



「あいちロボット産業クラスター推進協議会」では、産官学が連携してロボットの新技术・新製品を創出する活動を行っています。「医療・介護等分野ロボット実用化ワーキンググループ」では、医療・介護の現場や生活の場で活用するロボットの開発・実用化を促進する活動を進めており、この度、第21回ワーキンググループ（WG）を開催します。

今回は「見守り」をテーマとして、現在活用又は開発されているロボットの事例紹介や、開発経緯などの話題提供を通して今後のロボット活用・開発について考えます。

- 日時 2023年9月5日(火) 午後1時～午後4時
- 開催形式 会場:国立長寿医療研究センター 教育研修棟 1階 大研修室
オンライン併用(Cisco Webex Meetings を使用予定)
- 対象
 - ・介護ロボット等の開発に取り組んでいる又は関心のある方
 - ・介護ロボット等に興味のある医療・介護・福祉関係者等
 - ・あいちロボット産業クラスター推進協議会の会員(新規会員募集中)※同協議会への入会方法は協議会 Web ページを御覧ください。
<https://www.pref.aichi.jp/sangyoshinko/jisedai/robot/entry.html>
- 定員 会場参加・オンライン参加 各50名(申込先着順)
- 参加費 無料(オンライン参加の場合、通信料は自己負担となります。)
- 座長 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長 荒井 秀典 氏
- 副座長 同センター 健康長寿支援ロボットセンター
ロボット臨床評価研究室長 加藤 健治 氏

■内容

(1)介護ロボット(見守り)の製品紹介

①睡眠見守りシステム「みまもり〜ふ」

テクノホライゾン株式会社 ELMO ジャパン事業本部 営業統括2部 営業1課
エキスパート 間瀬 英男 氏

②「見守りライフ」

トーテックアメニティ株式会社 見守りライフ推進室 マーケティンググループ
星澤 有紀 氏

③次世代予想型見守りシステム「ネオスケア」

ノーリツプレジジョン株式会社 新規事業部
シニアアドバイザー 宝溝 誠治 氏

(2)話題提供①

「見守り機器の効果的な活用について」

社会福祉法人なごや福祉施設協会 本部事務局
施設指導主幹 川原 めぐみ 氏

(3)話題提供②

「開発中の独居高齢者向け健康見守りシステムについて」

株式会社FUJI イノベーション推進部 第1課 アシスタントリーダー
ヘルスケアDX主幹 清水 聡志 氏

(4)話題提供③

「介護・リハビリ支援ロボット活用促進事業の成果について」

学校法人藤田学園 藤田医科大学 保健衛生学部 リハビリテーション学科
助教 土山 和大 氏

(5)見学会 ※会場参加者のうち希望者のみ(要事前申込)。講演企業等の機器展示も行います。

申込方法 ※2023年8月31日（木）締切

以下のURLから「あいち電子申請・届出システム」にてお申込みください。

URL https://www.shinsei.e-aichi.jp/pref-aichi-u/offer/offerList_detail?tempSeq=77556

（参加証は発行しません。定員超過により申込みをお断りする場合は9月1日までにメールで連絡します。）

※システムを使用できる環境にない場合は、問合せ先へ御相談ください。

※オンライン参加の場合、参加者には、申込締切後、メールにて参加者用URLを案内します。なお、通信障害やハウリング、エコー等により音声や映像が乱れる場合があることを、あらかじめ御了承ください。



<見学会について>

国立長寿医療研究センター内のリハビリテーション室、生活支援実証室、あいちサービスロボット実用化支援センター等の見学会を行います。御希望の方は、合わせてお申込みください。

会場アクセス

■ 会場

国立長寿医療研究センター 教育研修棟 1階 大研修室（大府市森岡町7-430）

■ 交通アクセス（公共交通機関でのご来場にご協力ください。）

<ご参考><https://www.ncgg.go.jp/ncgg-overview/access.html>

JR大府駅からは下記のバスを利用できます。

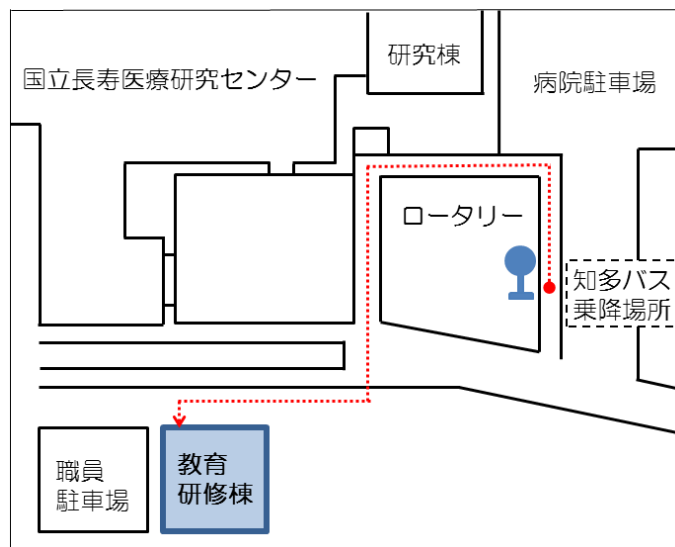
○ 知多バス（220円）…JR大府駅西口から「長寿医療研究センター」まで

《行き》

大府駅西口	⇒	長寿研
12時20分	⇒	12時29分

《帰り》

長寿研	⇒	大府駅西口
15時29分	⇒	15時55分
長寿研	⇒	大府駅西口
16時29分	⇒	16時55分



新型コロナウイルス感染防止対策

当日、発熱又は咳・全身痛等の症状がある場合、体調が優れない場合は参加をお控えください。

【事務局（お問合せ先）】

愛知県 経済産業局 産業部 産業振興課 次世代産業室 ロボット産業グループ 担当：竹中、福井
電話：052-954-6352 メール：robotshien@pref.aichi.lg.jp

《ご参考》 「事例紹介」でご紹介するロボットの概要

睡眠見守りシステム「みまもり〜ふ」（テクノホライゾン株式会社）



介護施設のサービスにおいて、睡眠を見守るといふ新しい指標で介護職員の負担を軽減し、介護サービスの質の向上を目指した見守りシステムです。ベッドのマットレスの下にセンサーマットを置くだけで、リアルタイムに要介護者の状態が確認できます。また、睡眠状態のデータを蓄積、解析することで、睡眠の改善に役立てられ、要介護者の睡眠の質の向上につながります。

WEB ページ <https://www.technohorizon.co.jp/lp/cs-1000/index.html>

「見守りライフ」（トーテックアメニティ株式会社）



離床センサーやカメラなどを活用した高齢者見守りシステムです。現在、ご利用のベッドに荷重センサーをとりつけるだけで、24 時間 365 日、利用者様が気付かないほどにさりげなく、動き出し、起き上がり、端座位、そして離床といった動作の見守りが行えます。また、ハードウェアの調達から工事まで、介護施設の ICT 化に足りないものをトータルに提供します。

WEB ページ <https://www.totec-mlife.jp/>

次世代予想型見守りシステム「ネオスケア」（ノーリツプレジジョン株式会社）



高齢者の転倒事故予防と介護職員の負担軽減を両立し、介護サービスの質を改善する革新的な介護ロボットです。距離センサーと当社独自の人の形を見つける画像処理により、ご利用者の危険につながる動作を正確に見つけて通知します。また、ご利用者の状態を離れていてもスマホで確認できるため、人手不足が深刻な介護現場の業務負担を軽減することができます。

WEB ページ <https://neoscare.noritsu-precision.com/>